



図書館のアルバイトを通して ⑥

～邂逅の書庫～

私は、京都外国語大学に入学して以来、この京都外国語大学付属図書館にてアルバイトをしています。一年生の内から**じんげん**と過ごす事に抵抗を感じ、この場所でアルバイトをする事に決めました。当初は慣れない仕事に戸惑い、失敗ばかり積み重ねていました。しかし、アルバイトの先輩方や職員さんに様々な事を教授して頂き、基本的な仕事は問題なく執り行うことが出来る今日に至りました。

閑話休題、図書館には種類雑多の仕事があります。カウンターで受付を行う業務、図書館入口で異常がないか確認する業務、返却された図書を棚に戻す業務、など仕事の種類は様々です。その中でも特にやり甲斐を感じる仕事は利用者の皆さんが希望する図書を書庫の中に取りに行く作業です。そこで、今回は書庫についてのお話をさせていただきます。書庫には多様な科学に属する本が収められています。言語学・法学・経済学、枚挙に暇がありませんが、実に多くの図書がそこにはあります。知らない人も多いと思



岩井翔希



いますが、書庫の中は大変広く、迷路のように入り組んでいます。その場に入る高揚感というものは何とも言い難いものです。もちろん、その他の仕事と同様、ろうぎかいてい螻蛄潰堤に気を付けています。アルバイトの時間外でも書庫に入り、どのような図書が蔵書されているのか、この目で探索する日もあります。兎にも角にも、図書館に表立って置いてある図書は全体のほんの一部でしかありません。

利用者の皆さんも一度、外大図書館の書庫に入ってみてはいかがでしょうか。レポートや研究で必要な本が眠っているかもしれません。そして、きっと蔵書の量の多さに驚くと思います。ちなみに、簡単な手続きで入庫することが可能です。

末筆ながら、私自身、以前まで書庫にはどのような本が収められているのかわかりませんでした。ですが、この書庫に本を取りに行く作業を通して図書館の書庫にある本の実態・中身を少しながら理解することが出来ました。今後とも利用者さんに本を貸し出す際、そのことに留意し、少しでも早く、本をお手元に届けられるように励んでいきたいと考えています。

いわい しょうき（日本語学科1年次生）

